

2021年4月23日

各 位

会 社 名 株式会社みずほフィナンシャルグループ
代 表 者 名 執行役社長 坂井 辰史
本 店 所 在 地 東京都千代田区大手町一丁目5番5号
コ ー ド 番 号 8411（東証第一部）

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、公表済の2021年3月期の連結業績予想を下記の通り修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、年間配当予想につきましては、変更ございません。

記

1. 2021年3月期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	3,500億円	138.02円
今回修正予想（B）	4,650億円	183.38円
増減額（B－A）	+1,150億円	+45.35円
増減率（%）	+32.8%	+32.8%
（ご参考）前期連結実績 （2020年3月期）	4,485億円	17.68円

2. 修正の理由

国内外ともに顧客部門が堅調に推移し連結業務純益が増加（約900億円）したことに加え、株式相場の上昇を背景とした株式等関係損益の改善（約100億円）や退職給付信託の返還に伴う特別利益の計上（約400億円）等により、業績予想を1,150億円上方修正し、4,650億円とするものです。尚、与信関係費用につきましては、新型コロナウイルス感染症が当社財務に与える影響に鑑み、将来予測に基づき、一部の与信に対して、フォワード・ルッキングに貸倒引当金を追加計上し、概ね当初予想並の水準となる見込です。

3. 決算発表予定日

2021年5月14日（金）

以上

本資料には、将来の業績及び計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。なお、上記に記載の事実が当社の米国会計基準による連結財務情報に与える影響の程度は未定です。

また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性などが含まれております。これらのリスクや不確実性の原因としては、与信関係費用の増加、株価下落、金利の変動、外国為替相場の変動、法令違反、事務・システムリスク、日本における経済状況の悪化その他様々な要因が挙げられます。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、有価証券報告書、統合報告書(ディスクロージャー誌)等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出した Form 20-F 年次報告書等の米国開示書類など、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

当社は、業績予想の修正等将来の見通しの変更に関する公表については、東京証券取引所の定める適時開示規則等に基づいて実施いたします。従って、最新の予想や将来の見通しを常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。